

三好 和彦 議員



1 (議案質疑)  
電子図書館導入事業について

時代に即したサービスの充実を目指して

問

コロナ禍により全国で急速に導入が進み、本市でも令和3年度に導入した電子図書館について、新刊書籍が提供されにくい、コンテンツ数が少ないなどといった課題があるが、コンテンツはどのような基準で選んでいるのか。

また、教育のICT化に伴う学校教育との連動を、どのように考えているのか。

更に、電子図書館の書籍読み上げ機能について、視覚障がい者を含め多くのかたが読書を楽しめるよう、更なる周知に努めてはどうか。

答

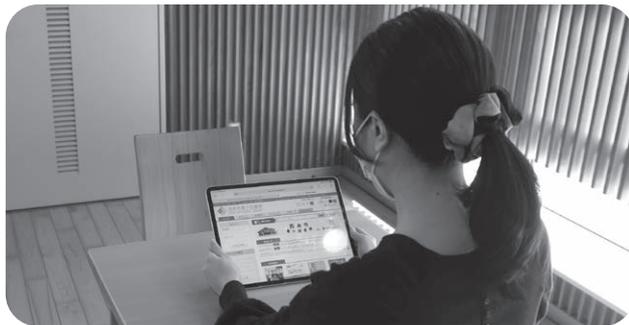
令和3年6月から運用している電子図書館は、図書館利用者カードを持っているかたが、インターネットを経由して臨時休館や外出自粛時でも、スマートフォンやパソコンで安全・安心に、いつでも電子書籍を楽しめるサービスである。

電子図書館コンテンツについては、利用者からの幅広い要望に応えられるよう、人気のシリーズ作品や話題の作品、家族で楽しめる絵本のほか、古典的名著や公立図書館としてそろえるべき図書について、複数の図書館司書が選定している。コンテンツによっては、使用期限が設けられているものもあるため、選定の際には安定した蔵書数を確保するよう努めている。

学校教育との連動について、先進事例では、電子図書館を活用した朝読や読み上げ機能動く絵本を活用した授業の実施などの取組がある。これらを参考としながら、令和4年度に改定予定の西条市子ども読書活動推進計画における、電子図書館を活用した学校での読書活動推進や学習支援に

ついて研究するとともに、子どもたちが読書の喜びや楽しさを知り、心豊かにたくましく成長できるように、学校と図書館などが連携して取り組みたい。

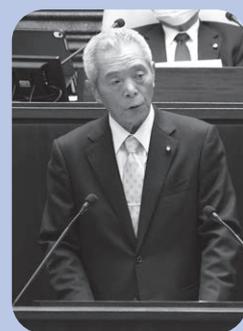
音声読み上げ機能については、令和3年度末の蔵書見込み数4千580点のうち805点に搭載されており、今後とも読書バリアフリー法を踏まえ、音声読み上げ機能付きの電子書籍の整備を図るとともに、電子図書館のメリットを市ホームページでPRしたり学校・関係機関などへ情報提供することにより広く周知したい。



いつでも利用できる西条市電子図書館

自民クラブ

藤田 節雄 議員



1 (代表質問)  
令和4年度の施政方針について

市民生活を取り戻すための経済対策を!

問

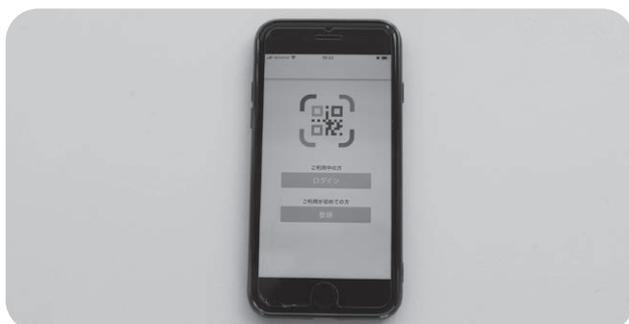
コロナ禍で市民生活や経済活動が制限される中、特別定額給付金支給事業や子育て世帯応援給付金支給事業、石鎚藩札の販売などの対策により、本市はなんとか持ちこたえている。

このような中、これまでの事業を見直し、最優先課題である市民生活を取り戻すための経済対策に取り組むことも必要であるが、今後の経済対策はどう考えているのか。

答

令和4年度は、既存の支援に加え、事業者による感染対策や経営基盤の安定化などの取組を支援するため、中小企業等経営安定化事業費補助金、セミナー開催及び個別相談支援事業、中小企業等経営環境調査の大きく3つの事業に取り組みたい。

また、影響が大きい宿泊業などの支援のため、宿泊等促進事業を実施し、地域活性化を図るとともに、LOVE SAIJOポイントを用いた消費喚起に資する事業により、どの業種も取り残すことなく、支援を行っていききたい。



LOVE SAIJOプラットフォームアプリ「prairie」